

- 環境保全有識者会議の報告書とりまとめ（令和5年12月）以降、合計 **264** 回の対話を実施。
- 協議は着実に進んでおり、河川法や県条例に基づく手続きに関して解決すべき残る課題は明確化されつつある。
- 引き続き、県とJR東海との協議に、国交省も入って、対話を進める。

JR東海と静岡県との対話状況(まとめ)
環境保全有識者会議報告書とりまとめ(令和5年12月7日)以降、令和7年9月26日)まで

年 月		議 題					合計回数注2)
		水資源	生物多様性	トンネル発生土・置き場	法・条例手続き注1)	全般的なこと	
令和5年			1	1			2
令和6年		29	57	44	21	3	124
令和7年	1月	4	10	2	1		17
	2月	7	6		1	1	15
	3月	5	5	1	4		12
	4月	1	12	7	6	1	22
	5月	6	9	10	1		23
	6月	3	7	2	2	1	14
	7月		6	8	1		15
	8月		6	3	2		10
	9月		4	4	2	1	11
累 計		55	123	82	41	7	264

注1) 静岡県自然環境保全条例については計**11**回(令和6年までに3回、令和7年:3/15,3/27,4/14,4/16,4/21,4/22,**9/4**)、
静岡県盛土等の規制に関する条例については計**13**回(令和6年までに10回、令和7年:3/5,4/28,**8/4**)、
河川法については計**18**回(令和6年までに8回、令和7年:1/30,2/21,3/26,4/22,5/28,**6/19,6/25,7/31,8/26,9/18**)の対話を実施。
注2) 1回の会議で複数の議題を議論しているため、合計回数は一致しない。

※赤字は前回会議からの追加分